

「仏性といふ人間觀」

織田顕祐

1. 親鸞聖人の念佛は「如来と衆生の出遇い」

2. その出遇いを「信心」という

信心よろこぶそのひとを

如来とひとしとときたまう

大信心は仏性なり

仏性すなわち如来なり (『淨土和讃』聖典 p.584)

3. 「本願を信じ、念佛をもうさば仏になる」 (『歎異抄』聖典 p.773) の教え

(凡夫が)仏になる:

氷が水になる

→氷と水は同一でも別異でもない。これを「不二・不一不異」という

→「氷」における「水」は有る無し (分別) を超えて本性として「有る」。けれども、今は「氷」であって今「水」なのではない。

→これを「衆生は仏性である」 (『涅槃經』) と說いた。